

(仮称)厚生産業会館市民投票実施案否決される



た。日本共産党議員団ではこうした声を受け、昨年10月に独自のアンケート調査に取り組みました。その結果、基本設計に基づく建設に賛成は約7%で、「いったん白紙に戻す」が67%、「当初の規模程度に戻すべき」が約17%であったことから、基本設計に基づく建設の是非については世論が大きく2分されているとして市民投票実施を提案しました。

パブコメの5倍集まっても尊重の意思なしとは

委員会では私からパブリックコメント時の結果と私たちが取り組んだアンケート結果の比較などについて若干の説明をしました。基本構想時のパブリックコメントには455人が意見を提出していましたが、基本設計後の私たちのアンケートにはその5倍以上の2413通の回答がありました。私への質問はなく、委員間討議が行われました。

アンケートでは7割が「いったん白紙に戻せ」

(仮称)厚生産業会館の建設については、昨年示された基本設計で基本構想時の概算建設費を10億円も上回る建設費となることが明らかになるなかで、多くの市民の中からこのまま建設を進めていいのかという声が上がっていました。

だ。もっと民意を聴いたうえで取組をどうするか決めるべきだ」などという見解が表明されました。

一方、反対の委員からは、「市議会では将来のために必要だと判断し、大多数の人が賛成で通している。共産党のアンケートは回答数が少なく、この時点で勝負はあった。とぼしい根拠に従って市民の意見が二分されていると言われるのは議会制民主主義とはなじまない」「とても悩ましい。城町では(賛否は)半々というのが実感だ。ネットの世界では9割ぐらいの方が白紙という強い意見だが、声なき声を聞いたときにネットの



【トサミズキ】マンサク科の落葉低木です。漢字で「土佐水木」と書きます。今年になって初めて吉川区と木田で見つけました。花言葉は「優雅」だとか。ぴたりです。写真は上越市役所木田庁舎にて撮影しました。



市議として最後の一般質問

市議として最後の質問を23日行いました。質問に入る前に、お礼と市議としての思い出を少し語りました。話したのは、最初の質問です。県立柿崎病院後援会設立を訴えたら、当時の木浦市長が「関係市議と連携して努力していく」と答弁してくれたことなどを語りました。質問では非核平和友好都市宣言、原発、農業問題を取りあげました。次号でお知らせします。これまで、お世話になったみなさん、ありがとうございました。

意見が多数意見かというところではない。市民を逆に二分するような市民投票をする必要はない」「将来に向け重要かつ必要な施設。一般財源については最小限の支出で造られる。アンケートに2万や3万返ってくるのであればわかるが、市民の意見が二分されているとは思えない」などの見解が出されました。

この発議案は26日の本会議で正式に可否が決まります。(この記事は25日段階で書いたものです)

はしづめ法一の
活動レポート

No.1702 2015.3.29

発行編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず
Tel 025-548-3628 吉川有線 4867
通じないときは 090-5392-1961
E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp
URL http://www.hose1.jp/



ブログ
「ホーセの見
てある記」は
← こちら

橋爪法一 検索

春よ来い

第三五〇回

折り目

毎日のように動き回っていると、いろいろな職種の方と出会います。そして、私が知らなかった光景と出会うこともたびたびです。

先日、早朝宣伝が終わってから市役所へ行ったときのこと、自分のはいているズボンを見て気になりました。折り目がまったく消えてよれよれになっていたので。まだ午前の早い時間帯でした。「これから、一日の活動のなかで大勢の人と接することになる」そう考えたなら、なんとかしたくなりました。

すぐに顔見知りのクリーニング屋さんのところへ飛び込みました。市役所の近くにあるお店です。これまで、地元でお世話になっていてクリーニング屋さんのところへ行っている余裕がないときに洗濯ものを持ち込んできました。

お店の中をのぞいたら、ご主人は仕事着に着替えられたばかりといった感じでした。年に何回も行くわけではないのに、ここのご主人とは不思議と気持ち合います。

ご無沙汰していることを詫言ながら、「ズボンの折り目がすぐ消えちゃってね、折り目加工してやってもええですか？」と言うと、「生地が何で作られているかによって、できるものできないものがあるんだよ。まあ、ちよつとよこしない」と言われました。

この日は、たまたま普段着にしているズボンが車の中に取りました。それを取りに行く、作業場の隅の方に入らせてもらい、ズボンをはき替えました。

スーツのズボンを渡してから、私はご主人のアイロンがけを見せてもらいました。ご主人は関取の化粧回しのようなものを身につけると、仕事台の上に私のズボンをさっと広げました。ズボンを広げた瞬間から、私はクリーニングのプロの姿を目にすることに なります。指でズボンの端を持ち、ぴつとのばす。アイロンを握る。アイロンをすべらす。折り目をつけていく。プレスをかける。見事な集中力とアイロンがけの作業に私は 圧倒されました。

初めてクリーニング屋さんさんの仕事ぶりを見せていただいた私は、「すごいもんですね」と言いました。ご主人は近くにある機械についても説明してくださいました。作業台には平らなものだけでなく、ズボンのお尻の部分をアイロンがけしやすいようになっているものなどもあることも初めて知りました。

話を聞いて、感心していると、「おまんのはいているズボンも脱ぎなさい」とご主人に言われました。一瞬、迷いましたが、店内には私とご主人以外に誰もいません。そつとズボンを脱ぎました。ズボンの下はステテコです。この日は長靴姿でした。誰も見ていなかったからよかつたものの、ステテコに長靴ではどうみても格好いいものではありません。

私はステテコ姿のまま、再び、アイロンがけ作業を見させてもらいました。私が二つ目に渡したズボンは普段着です。汚れがあるにもかかわらず、いやな顔一つせず、作業をすすめて、「蒸気があがってよかったです。いつでも持ってきてほしい」と言ってくださいました。しかも、この日はお金はいらないとおっしゃったのです。

アイロンがけは母や妻の作業を見たことはありません。でも、クリーニング屋さんという専門家の作業をじっくり見たのは初めてでした。ズボンの折り目をつけたいというところからお願した作業のなかに、職人としての技術と心意気を見ました。もうひと月もたてば、わが家の山には山菜がたくさん出ます。私はお礼にウドなどの山菜を届ける約束をして、お店を後にしました。

「公の施設再配置計画」に疑問の声

今議会の一般質問には20人の議員が立ちました。このうちの何人かの質問を紹介します。

2日目の一番最後に登壇したのは清里区出身の笹川議員でした。同議

員は、「最初にして最後でしょう」と言っていました。地元から傍聴者を大動員する中で「公の施設の再配置」問題を取りあげました。

山荘京ヶ岳を平成28年度で休止するという計画に、「いきなり休止を突き付ける」ことに激しく反発、再考を促しました。

市長が首を縦にはふらない中、最後は、(仮称)厚生産業会館や新水族博物館に大きなお金を注ぎ込んでも、こういうところにお金を使わないのかとも発言しました。改めて市の行革路線に疑問を投げかけることとなりました。

三和区の産廃処理などの検討へ

3日目は日本共産党議員団が全員登壇しました。平良木議員、上野議員とも市長からいい答弁を引き出しました。

平良木議員は三和区宮崎新田の産廃問題を取りあげ、「現状は違法状態にある。早期に処理をすべきではないか」と追及。市長は、「効率的、効果的な処分方法を、財源を含めて検討する」という答弁をしました。

上野議員は、「商店リニューアル支援事業」について再度提案しました。市長から、「事業者のニーズを把握するとともに、先行自治体の状況を確認する中で検討する」という答弁を引き出しています。

いずれも今後の動きに注目です。



【春先の雪飛ばし風景】
春先のいい天気の中での除雪。じつに気持よさそうでした。21日、市内山間部。

上越地域各消防署における空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	3月18日(水)	3月25日(水)
上越南消防署	0.040	0.053
上越北消防署	0.047	0.047
新井消防署	0.047	0.050
頸北消防署	0.053	0.050
頸南消防署	0.047	0.050
東頸消防署	0.040	0.047
高士分遣所	0.040	0.053
名立分遣所	0.050	0.053